



2023年度（2024年3月期）

第3四半期決算 補足説明資料

2024年2月8日

ぴあ株式会社

東京証券取引所プライム市場

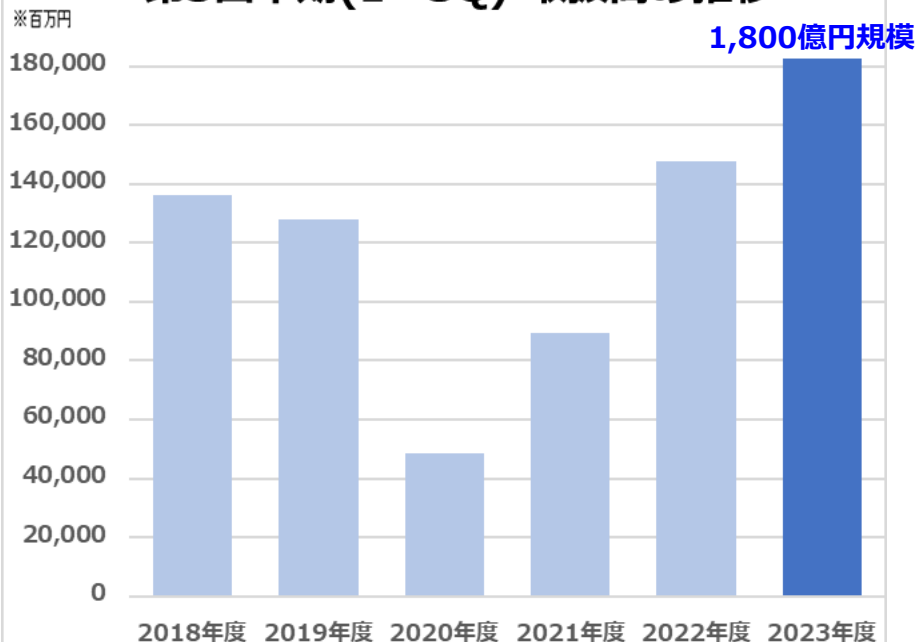
証券コード：4337

2023年度第3四半期 決算の概要

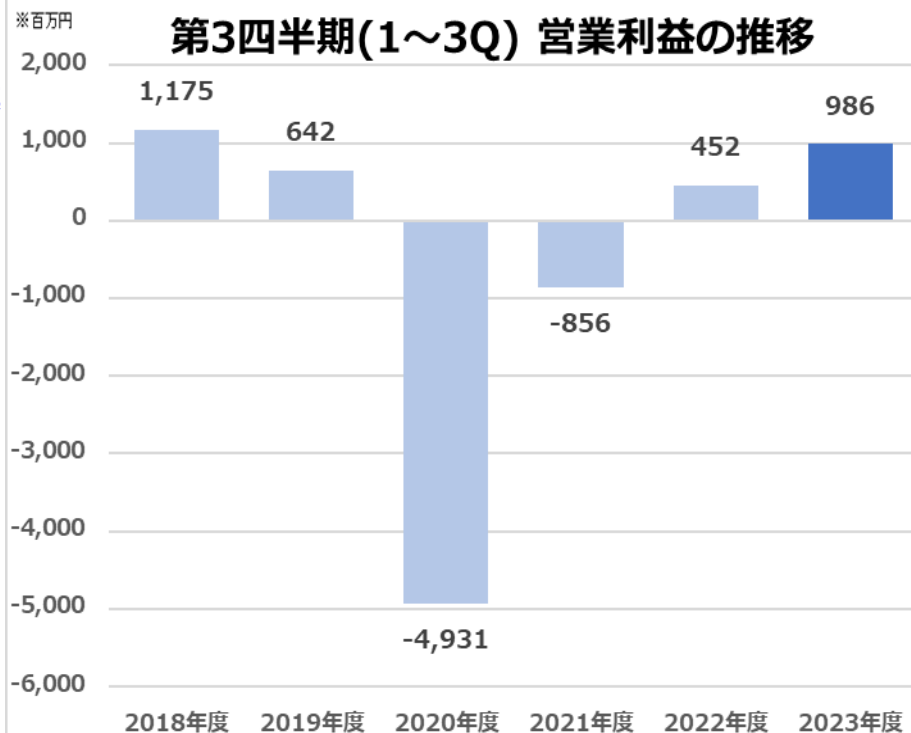


◆中期経営計画初年度の第3四半期業績は、スポーツジャンルの活況や人気アーティストの全国ツアー、ドーム規模の来日公演の大型案件等により、取扱高ベースでは1,800億円規模となり、第3四半期連結累計期間での過去最高の水準。主催事業や出版商品、ぴあアリーナMMの稼働率等が堅調だったことも伴い、営業利益は前期比で倍増し、経常利益においても期初想定を上回る形で推移している。

第3四半期(1~3Q) 取扱高の推移



第3四半期(1~3Q) 営業利益の推移





- ◆ **基幹事業群(チケット流通を中核としたバリューチェーン事業)の実績は、コロナ禍前を上回る形で好調に推移し、こうした基幹事業群の力強い回復によって中期経営計画初年度としての通期目標の達成は十分に見通せる状況にあるが、諸物価の上昇や社会・業界全般的な人手不足等の問題の顕在化により、一定の減速リスクがあるものと想定。**
- ◆ **新規事業群においては、本格的な事業化の端緒にあり、基幹事業群の好調を背景に、戦略的投資を継続。人的資本の確保・拡充を当社経営の中核に据えた人的資本経営にも注力し、従業員の採用や待遇改善を進めている。**
- ◆ **通期予想に際しては、第4四半期以降の集客エンタメ市場の減速リスク、新規・トライアル事業群の戦略的投資の強化、経営全般に及ぶ人的資本の確保・拡充、加えて関西・大阪万博の大規模受託事業の帰趨が不透明なこと、等を勘案した。通期連結業績予想については、期初(5月)公表の予想数値を据え置くものの、全社一丸となり、公表数値を上回る着地を目指す。**

第3四半期の主な取り組み



落語の高座動画1,000本の見放題サービス「ぴあ落語ざんまい」がスタート

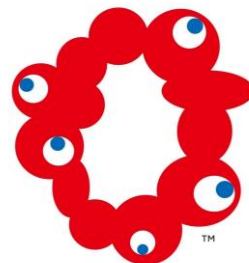


登録はこちら→

「新宿末廣亭」の全面協力のもと、実際の高座を収録した1,000本以上の映像を、定額見放題で楽しめる動画配信の新サービス。会派を超えた100名以上の多彩なラインナップは必見。



「大阪・関西万博」のチケットング業務受託開幕500日前に「入場チケット」販売開始



OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO
2025

©Expo 2025

2025年4月に開催を控えた「大阪・関西万博」において、ぴあではWebサイトでのチケット販売管理から来場者の入退場まで一連の管理システムを提供。昨年11月末からは入場チケット販売も開始した。



デジタル庁からの委託を受け、「ぴあフェス」ほかマイナンバーカード活用の実証実験に協力

マイナンバーカードの持参率の検証、本人確認ツールとしての運用、の2つの実証実験を行った。直近では今年1月に「マサラーフェス2024」(@ぴあアリーナMM)でも実施し、集客エンタメ業界での利活用の検討が続けられている。



高付加価値体験を提供する「ホスピタリティチケット」の販売をスタート



昨年「PDHX社」の設立以降、ラグビーリーグワン、サッカーではJリーグだけではなく海外招聘試合のほか、テニスチャンピオンシップス、世界ラリー選手権など、着々と取り扱いイベントを拡大している。